

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

## 甲第五十五号

---

(発行年 / Year)

1910



甲第五十五號

明治二十九年一月十八日配付

第四章 親子

第一節 實子

第一款 嫡出子

第八百十九條 婚姻中ニ妻カ懐胎シタル子ハ夫ノ子ト推定ス

婚姻成立ノ日ヨリ二百日後又ハ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ三百日内ニ生レタル子ハ婚姻中ニ懐胎シタルモノト推定ス

婚姻成立ノ日ヨリ百八十日後百九十日内又ハ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ三百一日後三百二十日内ニ生レタル子ハ醫師ノ鑑定ニ依リ其發育程度カ經過日數ニ適合スルコトノ證明セラレタルトキニ限り婚姻中ニ懐胎シタルモノト推定ス

(參照)八九一八年十二月二十五日內務省省令十五年七月二十

八日同省指十七年八月十四日同省指二十一年九月二十七  
日司法省指佛三一二乃至三一五澳一三八一五七一五八爾  
三〇五乃至三一〇、伊一五九一六〇葡一〇、ウ、ォー一六二  
乃至一六五、グ、ラ、ウ、ホ、ム、ン、デ、ン、五、七、二、項、ク、エ、ー、リ、ヒ、六  
四七乃至六五〇、西一〇八白草二七八乃至二八五、二九一、獨  
一草一四六六乃至一四七二、同二草一四八六乃至一四八八  
普二部二草二五一九二七、索一七七一、一七七二

第八百二十條 前條ノ場合ニ於テ子ノ嫡出ナルコトヲ否

認スル權利ハ夫ノミニ屬ス

(參照) 入一〇〇、佛三一二乃至三一六澳一五八一五九爾三〇  
五乃至三〇九伊一六一乃至一六五葡一〇六ウ、ォー一六二  
乃至一六六、グ、ラ、ウ、ホ、ム、ン、デ、ン、五、七、二、項、ク、エ、ー、リ、ヒ、六、四、九  
六五〇、西一一一、白草二八六、獨一草一四七二、同二草一四八  
八普二部二草一七一八、索一七七一、一七七二

第八百二十一條 否認權ハ子又ハ其法定代理人ニ對スル

訴ニ依リテ之ヲ行フ但夫カ子ノ法定代理人ナルトキハ  
裁判所ハ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

(參照) 十五年二月七日内務省指佛三一八同千八百八十年十  
一月二十四日大審院判決同千八百八十六年七月二十一日  
モンペリエ判決同三一五伊一六六一六八葡一〇七一一三、  
白草二八七獨一草一四七五一項同二草一四九二

第八百二十二條 夫カ子ノ出生後ニ於テ其嫡出子タルコ

トヲ承認シタルトキハ其否認權ヲ失フ

(參照) 十五年一月二十日内務省指佛三一四澳一五六爾三〇  
六伊一六一葡一〇二ウ、ォー、リ、ヒ、六、四、九、西一一〇、白草二八  
四獨一草一四七二、同二草一四八九索一七七四一七七五  
七七七

第八百二十三條 夫ハ無能力者ナルトキト雖モ否認ノ訴

ヲ提起シ又ハ前條ノ承認ヲ爲スコトヲ得

(參照) 獨一草一四七四同二草一四九一一、項三項

第八百二十四條 夫ノ法定代理人ハ夫ニ代ハリテ否認ノ

訴ヲ提起シ又ハ第八百二十二條ノ承認ヲ爲スコトヲ得  
ス但夫カ禁治産者ナルトキハ其法定代理人ハ親族會ノ

認許ヲ得テ否認ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

(參照)人一〇、佛千八百四十四年七月二十四日大審院判決  
獨一章一四七、同二章一四九

第八百二十五條 否認ノ訴ハ夫カ子ノ出生ヲ知りタル時

ヨリ一年内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

(參照)人一〇、佛三一、六澳一五八、蘭三一、一伊一六六、葡一〇  
七、ウエー一六六、グラッポ、ムンデン五七三、項ツ、ムーリ、ヒ六  
五一、西一一三、白草二八八、二九三、獨一章一四七、三、同二章一  
四九〇、普二部二章七八、索一七七五

第八百二十六條 夫カ禁治産者ナルトキハ前條ノ期間ハ

其法定代理人カ子ノ出生ヲ知りタル時又ハ禁治産ノ取  
消アリタル後夫カ子ノ出生ヲ知りタル時ヨリ之ヲ起算  
ス

夫カ未成年者ナルトキハ前條ノ期間ハ其成年ニ達シタ  
ル時ヨリ之ヲ起算ス

(參照)獨一章一四七、三二、同二章一四九〇、二項一四九一、二

項

第八百二十七條 夫カ子ノ出生前又ハ否認ノ訴ヲ提起セ

スシテ第八百二十五條ノ期間内ニ死亡シタルトキハ其  
子ノ爲メニ相續權ヲ害セラルヘキ者其他三親等内ノ血  
族ニ限リ否認ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ否認ノ訴ハ夫ノ死亡ノ日ヨリ一年  
内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

夫カ否認ノ訴ヲ提起シタル後判決確定ニ至ラサル間ニ  
死亡シタルトキハ第一項ニ掲ケタル者ニ於テ其訴訟ヲ  
繼續スルコトヲ得

(參照)佛三一七、澳一五九、蘭三一、二乃至三一、四、伊一六七、葡一〇  
六一〇、八二〇、九、ウエー一六七、グラッポ、ムンデン五七三  
項ツ、ムーリ、ヒ六五、西一一二、白草二八六、二八九、獨一章一  
四七、二、同二章一四八

第八百二十八條 第七百六十七條第一項ノ規定ニ違反シ  
テ再婚ヲ爲シタル女カ分娩シタル場合ニ於テ第八百十



九條ノ規定ニ依リ其前夫又ハ後夫ヲ以テ子ノ父トスヘ  
キカラ定ムルコト能ハサルトキハ裁判所ハ事實ヲ審査  
シテ之ヲ定ム

(參照)白章二九二、獨一章一四七、九同二章一四九五

第二款 私生子

第八百二十九條 私生子ハ其父又ハ母ニ於テ之ヲ認知ス  
ルコトヲ得

前項ノ認知ハ無能力者ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

(參照)八九五乃至九九六年一月十八日二十一號告十四年九  
月五日內務省指同年十一月八日同省指二十二年八月二十  
七日司法省指二十三年三月二十九日同省指二十四年四月  
十五日同省指佛三三五乃至三三七同八十七年四月二十六  
日カシ判決關三三七乃至三三九伊一七九一八〇、葡一二二  
乃至一二五ゾォー一八三一八五一八六西一二九白章三一  
一三一一五

第八百三十條 私生子ノ認知ハ之ヲ戶籍吏ニ届出ツル

ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

認知ハ遺言ニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リテ爲シタル認知ハ出生ノ時ニ週リ  
テ其效力ヲ生ス

(參照)八九九六年一月十八日二十一號告八年十二月二十五  
日內務省指十年十一月十七日同省指十三年十月二十日太  
政官決裁二十一年九月二十七日司法省回答十九年十月十  
六日東京控訴院判決二十二年一月三十一日大審院判決二  
十六年六月二十九日大審院判決佛三三四關三三六伊一八  
一西一三一、白章三一〇、三一、獨千八百七十五年二月六日  
法二二九普二部二章六一四六三九索一八七四

第八百三十一條 成年ノ私生子ハ其承諾アルニ非サレハ  
之ヲ認知スルコトヲ得ス

(參照)葡一二六西一三三一項

第八百三十二條 父ハ胎内ニ在ル子ト雖モ之ヲ認知スル  
コトヲ得此場合ニ於テハ母ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

父又ハ母ハ死亡シタル子ト雖モ之ヲ認知スルコトヲ得  
(参照)八二佛千八百八十六年七月十三日大審院判決白草三

一三

第八百三十三條 認知ハ之ヲ取消スコトヲ得ス但第  
條ノ適用ヲ妨ケス  
(参照)白草三一七

第八百三十四條 子其他一切ノ利害關係人ハ認知ニ對シ  
テ反對ノ事實ヲ主張スルコトヲ得  
(参照)佛三三九蘭三四一伊一八八葡一二七一二八ウオー一

九二西一三三三項一三八白草三一六三一八

第八百三十五條 父又ハ母カ任意ニ認知ヲ爲ササルトキ  
ハ子及ヒ其直系卑屬又此等ノ者ノ法定代理人ハ父又ハ  
母ニ對シテ認知ヲ求ムルコトヲ得  
(参照)二六六年六月二十九日大審院判決佛三四〇乃至三四

二澳一六三一六四蘭三四二乃至三四四伊一八九乃至一九  
三葡一三〇乃至一三三ウオー一八四二八九乃至一九一  
ラウビュンデン七一乃至八一ウエーリヒ六九七乃至七〇

三、四一三五乃至一三七白草三一九乃至三二四普千八百五  
十四年四月二十四日法一三案一八五九

第八百三十六條 父母ノ知レタル私生子ハ其父母ノ婚姻

ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得ス

前項ノ規定ハ子カ既ニ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス  
婚姻中父母カ認知シタル私生子ハ其認知ノ時ヨリ嫡出  
子タル身分ヲ取得ス

(参照)八一〇三乃至一〇五十一年四月二十九日内務省指同  
年五月二十五日同省指十六年十月二十四日同省指同年同  
月二十九日同省指二十四年四月十五日司法省指二十七年  
四月二十八日内務省及司法省指佛三三二乃至三三三澳一  
六一蘭三二七乃至三三四伊一九四乃至二〇一葡一一九乃  
至一二一ウオー一七八乃至一八一ウエーリヒ八四  
フューリヒ七〇七乃至七一〇西一九乃至一二八白草三  
三九乃至三四三獨一章一五七九乃至一六〇〇同二章一六  
〇六乃至一六二四普二部二章五九六五九八六〇〇案一七  
八〇